

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		防犯灯設置事業					
事業の概要		<p>日常生活圏において発生する凶悪犯罪が日々報じられ、住民の防犯意識の高まりとともに防犯灯整備への要望も増してきている。自治会からの要望により順次防犯灯を整備し、地域ぐるみの防犯活動を推進する。</p> <p><内容> 防犯灯設置 20箇所</p>					
		事業期間	平成19年度				
		総事業費	549	本年度事業費	549	交付金交付額	274
事業 評 価	事業の必要性	防犯灯については自治会からの要望により順次整備しているが、生活道路はまだまだ暗いのが現状であり、夜間における事故・犯罪を未然に防ぐため、本事業の早期の実施が希求されている。					
	事業の有効性	夜間の危険箇所を減らすことにより、暮らしやすく快適な生活環境を創出することで、住民の安心・安全な暮らしに寄与する。					
	事業の効率性	防犯灯は、夜間の視界を確保し事件・事故を未然に防ぐことが必須の使命である。これらはいつ発生するのかわからないため、早急に設置整備することが最大の予防策となる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
<p>本事業に加え、住環境や交通ネットワーク等のインフラ整備を関連させて実施することで、住民の定住促進等の効果が期待される。</p>							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。